



創立記念日にあたり（学園だより抜粋）

## <創設者 安田善次郎翁 没後100年に想う>

### 克己の人…“今日一日の事”の実践



本年2021年は、創設者安田善次郎翁の没後100年になります。

83年間にわたる安田善次郎翁の生涯、その輝かしい事業業績は、一代にして積みえた富の量においてその右に出る者はないといえます。まさに近代日本の生んだ財界の巨人というにふさわしい方でした。そして、善次郎翁の成功の最大の秘訣および人としての最大の魅力は、その人並外れた驚異的ともいえる意志の強さ、克己心の強さにありました。

善次郎翁は、人が何事かを成し遂げるためには、知識・技能などが必要なことはもとより、なによりも大切なことは、その目的達成を妨げるいろいろな障害や誘惑をしりぞけてことをやりぬく強い意志の力、すなわち克己心であると考えていました。克己心はいわゆる忍耐心とは少し異なり、進んで苦しいと思うことを行い、恥となることも忍んで、将来の大成を期して、喜んで質素な生活を自らに課すという積極的なものでした。

また克己心はあたかも家における大黒柱のようなものだとしています。何事もない平穏無事な時は目立たないものですが、暴風や地震の際に四寸（約12cm）の柱よりも八寸の柱が丈夫のように、人生のあらゆる誘惑・障害にぶつかった時に、克己心が強いか弱いかが、これに打ち勝って成功するか、不成功に終わるかの運命を決定するものであると、その著「克己実話」で述べています。

さらに続けて

「克己心はこのように大切なものだから、人には天性克己心の強い人と弱い人がいるだろうが、弱い人も強い克己心を持つことができるように努力しなくてはならない。では克己心を養うためにはどうしたらよいか。それにはあることをしようと決心したら、まずその期限を決めて、たとえば30日間とか50日間とか実行してみる。その期間が無事にできたら、さらに100日とか、1年、さらに3年、5年とまた期限をきめて実行してゆけば、それが次第に習慣となって、自信もついて無理なくおこなえるようになるものである。」と述べています。またその目標をきめる場合には、「自分の境遇や状態をよく考えて、おこない易い無理のないものにすることが大切であり、なにごとくもあまり遠大な目標を始めから掲げてしまうと、とても実行できず、途中で挫折し落胆し、自信を失う結果におわってしまう。」と戒めています。

善次郎翁が、『今日一日の事』と題して、下記の五訓を定めたのもまづきょう一日これを守ること、そして、それを毎日かかさず繰り返していくことによって、克己心が養成されると考えたからです。

#### 今日一日の事

1. 今日一日 親・先生・身の回りの人たちの恩を忘れず、不平不満を言わないこと
1. 今日一日 決して腹を立てないこと
1. 今日一日 嘘をつかず、無理な願いごとをしないこと
1. 今日一日 人の悪口を言わず、自分の自慢話をしないこと
1. 今日一日 存命を喜び、家業（勉強）を大切につとめること

これは、校訓「誠実・明朗・奉仕」のもとになっている心構えでもあります。

生徒の皆さんには、入学時に配布した「松翁 安田善次郎」「生き方の探究—安田学園流 人間力を高める」にも掲載されています。また、毎年命日の9月28日に行われる「松翁忌」には全校放送で伝えています。

新型コロナウイルス感染症による制限された社会で強く生き抜くためには、意志の強さ、克己心が必要です。毎日を意義あるものにしていくためにも「今日一日の事」を実践していきましょう。

善次郎翁の没後100年に際し、あらためて創設者の偉大さを感じるとともに、安田学園の生徒一人一人が「克己の人」にならんことを願います。

校長 稲村 隆雄